

NPO 全国精神障害者地域生活支援協議会 第22回 全国大会 in 大阪

AMI ROAD

ロード

あみ道

～ひとをつなぐ 地域をつなぐ 未来へつなぐ～



2018年7月13日(金)・14日(土)

@ホテルマイステイズ新大阪

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

主催：特定非営利活動法人 全国精神障害者地域生活支援協議会

1997年7月、あみ設立。当時、「作業所の法定化」「地域間格差の是正」「全国ネットワークの促進」を三つの活動目標として掲げ、精神障害者のまちでの暮らしを支える様々な人々が結集しました。

ちょうどその頃、精神保健福祉士国家資格化に際し、あみは、「作業所」勤務年数が実務経験の対象となるよう国に働きかけ、その結果、対象となりました。この件に関する一連の動きがあみとしての活動の始まりであったように思います。

その後、ほんの20余年の間に、法制度環境は様々に変化してきました。

その中でもより大きな転換であったのは、「小規模通所授産施設」を運営するための法人化の問題と2006年の障害者自立支援法の成立ではないかと思っています。

その後、障がい者制度改革推進本部の設置と総合福祉部会からの提言等を経て、現行の障害者総合支援法へと移り変わっていくのですが、法律名が変わっただけでその内実に大きな変化は見受けられない現状です。

今回の大会テーマは、あみ道^{ロード} ～ひとをつなぐ 地域をつなぐ 未来へつなぐ～ としました。私たちの支援の現場は、法の変化とともに「作業所」「小規模通所授産」「障害福祉サービス」とその名を変えてきましたが、めざすものは何ひとつ変わっていないと思います。

そこに集う人たちが相互理解と安心を感じ取りながらつながる。

そこでの活動をとおして近隣の住民（地域）とのつながりを築いていく。

そして、地域で暮らすことがあたりまえとなる未来へつなぐ。

このテーマのもと、私たちの現場実践を持ち寄り、さらにその充実をめざすために、全国各地から多くのご参加をお待ちしております。

大会概要

AMI ROAD

テーマ：あみ道^{ロード} ～ひとをつなぐ 地域をつなぐ 未来へつなぐ～

日程：2018年7月13日(金)・14日(土)

会場：ホテルマイステイズ新大阪 コンファレンスセンター

〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-2-19 TEL/06-6302-5571

会費：①会員、賛助会員 7,000円

②一般 9,000円

③当事者、家族、学生 2,000円

※活動交流会 6,000円

※本大会は日本財団の助成により実施しています。

問合せ先

AMI ROAD

◆第22回全国大会in大阪 大会実行委員会 事務局

ウィング 担当：宅間 (対応時間帯/9:00～17:00)

〒536-0023 大阪市城東区東中浜1-2-4

Tel: 06-6924-9975 fax: 06-6924-9976

◆(NPO)全国精神障害者地域生活支援協議会(あみ)事務局 担当：宮坂

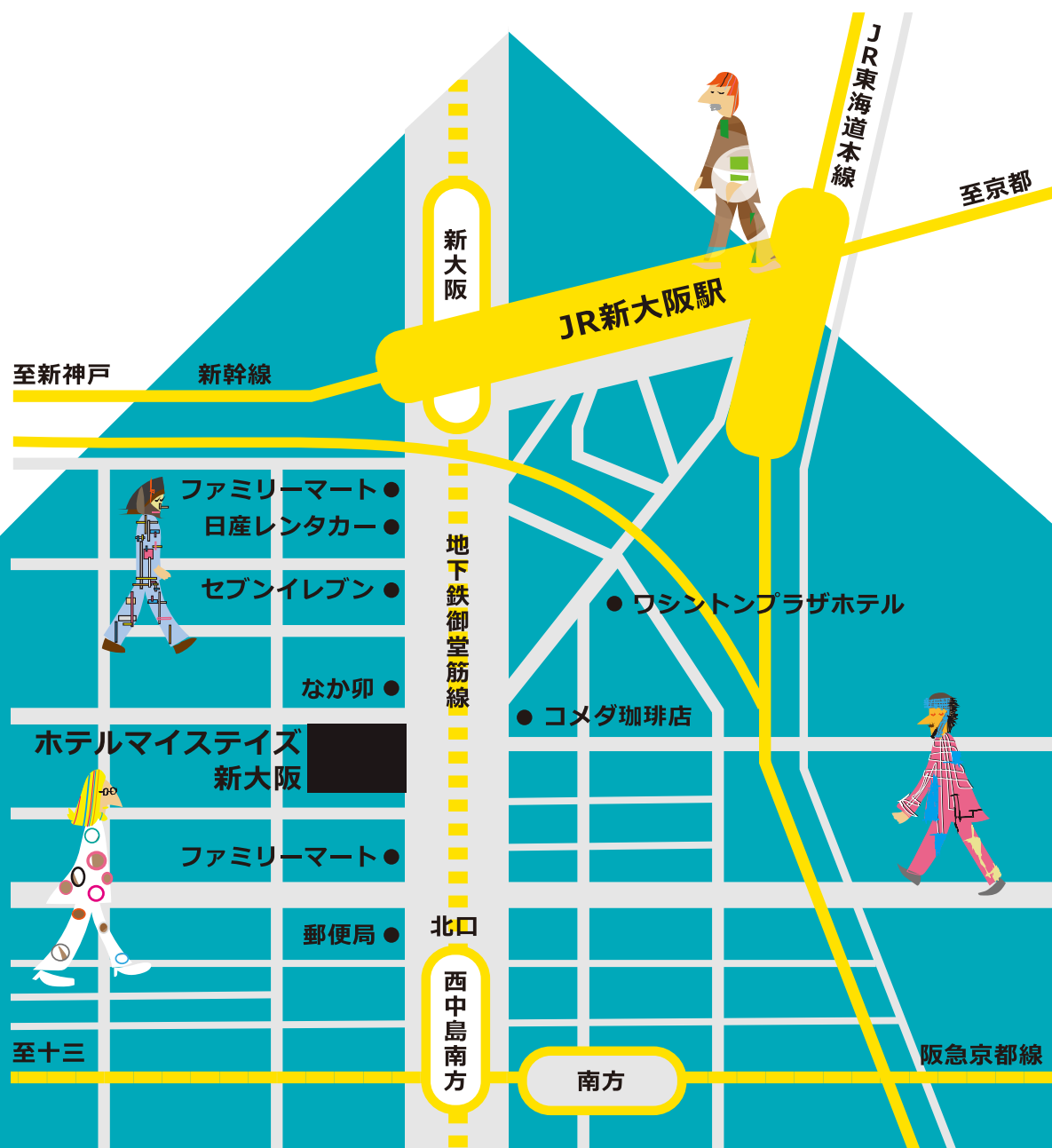
〒185-0022 東京都国分寺市東元町4-1-14 リヒテンハイム102

Tel: 042-313-9403 fax: 042-313-9407

E-mail: info@ami.or.jp http://www.ami.or.jp

ホテルマイステイズ新大阪 コンファレンスセンター

〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-2-19 TEL/06-6302-5571



●最寄り駅から会場へのアクセス

- ・JR「新大阪」駅新幹線の南口改札、または在来線の東改札口から駅の1階へ降り、正面口を出て右へ徒歩5分
- ・地下鉄御堂筋線「新大阪」駅7番出口より徒歩5分
- ・地下鉄御堂筋線「西中島南方」駅1番出口より徒歩5分

●ターミナル・主要駅から最寄り駅へのアクセス

- ・京都駅より電車で30分
- ・名古屋駅より電車で1時間
- ・広島駅より電車で1時間30分
- ・東京駅より電車で2時間30分
- ・博多駅より電車で2時間30分
- ・大阪国際空港よりバスで25分

プログラム 大会1日目：7月13日(金)

AMI ROAD

10:00 総会受付開始

10:30～11:50 総会

12:00 大会受付開始

13:00～13:30 開会式

13:30～13:50 基調報告：内山 澄子（社福）のうえい舎/千葉県習志野市、あみ副代表

13:50～14:30 東日本大震災関連 「女川いのちの教科書」
講師：阿部 一彦 氏（宮城県仙台二華中学校） 阿部 由季 氏（宮城県迫桜高等学校）

宮城県女川町は、東日本大震災により人口約1万人のうち827名、あの時女川町にいた人の約55%もの尊い命が奪われました。4月、中学1年生となった64名は、社会科の授業をきっかけに、もう二度と自分たちが経験した辛く悲しい体験を繰り返さないため「1000年後の命を守る」を合言葉に活動を始め、日本全国や海外からのご支援もいただき、町内全ての浜の津波到達点より高い所に石碑を立てる等の活動を行いました。
中学校卒業後も活動を続け、現在は自分たちでまとめた『女川いのちの教科書』を日本各地で伝える活動をしている。

14:30～14:45 休憩

14:45～16:15 記念講演「ひとをつなぐ 地域をつなぐ 未来へつなぐ」

講師：勝部 麗子 氏（社福）豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長/大阪府豊中市

勝部氏は地域の声なきSOSを住民の協力を得てキャッチし、住民と共に解決を図っています。住民、行政、専門職をつないで解決方法を探り、地域に支えあいの「仕組み」を作ってきました。記念講演では、豊中市での誰もが生き生きと暮らせる社会をめざす地域福祉の取り組みをご紹介します。これからの精神障害者の地域生活支援についてどのように考えておられるのかお聞きしたいと思います。

◆勝部 麗子 氏 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長

1987年（昭和62）年入職以来、ボランティアセンター、小地域福祉ネットワーク活動、当事者組織など、地域組織化や地域福祉活動計画に携わる。2004（平成16）年度より始まった、大阪府地域福祉支援計画のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）設立事業の一期生となる。現在は、CSWとして制度の狭間の課題を解決するプロジェクトの立ち上げ等に取り組んでいる。また、厚生労働省社会保障審議会「生活困窮者の支援の在り方に関する特別部会」に委員として参加。2014（平成26）年4月から放映のNHKドラマ10「サイレントプア」のモデルとなり、同ドラマの監修を務めた。7月には「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演。2016年厚生労働省地域力検討会委員として参加、2017年より厚生労働省生活困窮者自立支援及び生活保護部会委員として参加。

16:15～16:30 休憩

16:30～17:30 特別講演「語りとピアサポートについて」

講師：栄 セツコ 氏 桃山学院大学社会学部社会福祉学科 教授/大阪府和泉市

「語り」には言霊（ことだま）が宿り、「つなぐ・つながる」という特性があります。その語りをもつ功と罪について共有し、ピアサポートの可能性について深めることを通じて、私たちの支援のあり方の多様性を探る機会にしたいと思います。

◆栄 セツコ 氏 桃山学院大学社会学部社会福祉学科教授 精神保健福祉士／学術博士
大学卒業後、精神科医療機関に勤務し、病いの語りや病いの経験によって得た生活の知恵に関心をもつ。研究テーマは、病いの語り、ストレングス視点に基づく支援、当事者の語りによる福祉教育、ソーシャルワークの価値などである。主な著書に『ストレングスモデル 精神障害者のためのケースマネジメント第2版』（金剛出版、共訳）、『コンシューマーの視点による本物のパートナーシップとは何か？』（金剛出版、共訳）、『こころの病いの物語をつむぐ 学校における語り部活動』（やどかり出版、共著）、『病いの語りによるソーシャルワークーエンパワメント実践を超えて』（金剛出版、単著、近刊）などがある。

18:00～20:00 活動交流会

08 : 30

分科会受付開始

09 : 00 ~ 12 : 00

分科会

- 第1分科会／^{ロード}B道 ～B型の目指すべき道～
 第2分科会／暮らしを支える地域づくり ～様々な地域からの実践報告～
 第3分科会／「発達障害」ってな～に？ ～知りあう わかりあう 支えあう～
 第4分科会／地域包括ケアシステムとは？ ～精神障害者の地域生活支援の行方～
 第5分科会／「私」から始まる仕事づくり ～「粹」からはなれてこれからの福祉を考えてみよう～
 第6分科会／医療と地域の連携 ～ぶっちゃけ どう思っていますか？～
 第7分科会／^{かたロード}語道 ～表現が「私」と「あなた」をつなぐ～

※分科会の詳細は裏面を参照してください。

12 : 00 ~ 13 : 00

昼休み

※お弁当の予約販売を行います。希望される方は下部の【お弁当について】をご覧ください。

13 : 00 ~ 14 : 00

行政報告：厚生労働省 社会・援護局

14 : 00 ~ 14 : 15

休憩

14 : 15 ~ 16 : 45

シンポジウム ^{ロード}「あみ道 ～ひとをつなぐ 地域をつなぐ 未来へつなぐ～」

◆シンポジスト：

- 藤井 達也 氏 泉地域精神保健福祉研究所 主任研究員/神奈川県横浜市
 桐原 尚之 氏 全国「精神病」者集団 運営委員/東京都中野区
 戸高 洋充 (社福) 藤沢ひまわり 理事長/神奈川県藤沢市、あみ代表

◆コメンテーター：

- 門屋 充郎 氏 (NPO) 十勝障がい者支援センター/北海道帯広市

◆コーディネーター：

- 田中 直樹 氏 (NPO) あおば福祉会/東京都杉並区
 出口 珠紀 氏 (社福) 明日葉/大阪府守口市

あみは昨年20周年を迎えました。

「大人になったあみ」が、そして「精神障害者の地域生活支援」が「歩むべき道」について考えます。

シンポジウムでは「ひとをつなぐこと、地域をつなぐこと」についてご意見を伺います。

そこから、「これからの道」、「未来へつなぐもの」について

皆様と一緒に考えたいと思います。

共に歩んでいきましょう!!

16 : 45 ~ 17 : 00

閉会式

お弁当について

「ビリケン弁当」

大会 2 日目の昼食をご用意しました。

大阪名物、通天閣の幸福の神様「ビリケンさん」の特製お弁当です！

ビリケンさん型の容器へ、ビリケンさんおにぎりやたこ焼き、串かつ、

幸せをかたどった大吉厚焼き玉子焼など、大阪名物をぎっしり詰め込みました。

ご当地ならではのお弁当をぜひ、お召し上がりください！

販売価格：1400円（税込）お茶付き

※希望される方は、参加申込書にてご注文ください。



大会2日目：7月14日（土）9:00 - 12:00

- 1：希望される分科会を選んでください。（第1候補と第2候補の2つを選んでください）
- 2：分科会は申し込みの**先着順**となります。希望された分科会の定員がいっぱいになった場合は、第2候補へと定員に達していない分科会に振り返られます。あらかじめ、ご了承ください。
- 3：各分科会の定員は、実施形式と申し込み状況により可能な限り参加希望者数に見合った使用会場を検討します。
- 4：分科会当日は、**分科会の参加券をご持参**の上、指定された会場に**開始 10 分前**までにはお越しください。
但し、**2日目からご参加の方は、まず総合窓口にて受付を済ませ**参加券を受け取り、分科会会場にお越しください。

■ 第1分科会

ロード
B道 ～ B型の目指すべき道～

講師：菅野 治子 氏 （社福）朋志美会 しののめハウス施設長/大阪府堺市
：近藤 淳 氏 （NPO）このは ガーデニング/東京都豊島区
司会：山下 貴志 氏 （NPO）サラダ倶楽部 サラダばー/大阪市東成区

報酬改定が行われ、惑いや不安がありませんか？

工賃は上げたい、でも、作業に追われることで利用者が安心して自分らしく過ごせる居場所や仲間との関係性が稀薄になってしまう。

目の前にある課題に葛藤する支援者も多くなる今だからこそ、本来の精神障害者の地域生活支援で大切にしていた事を改めて確認し、話題提供者と共に考え学び、未来に繋げていく時間を作ります。

後半はグループに分かれて前半の感想や支援のなかであなたの大事にしていることなどをシェアして、私たちが進むべき道について話し合しましょう！皆さんとの繋がりを楽しみにしています！

■ 第2分科会

暮らしを支える地域づくり ～様々な地域からの実践報告～

講師：河野 和永 氏 （NPO）陽だまりの会/大阪府枚方市
：山口 さとる 氏 医療法人社団 風鳴会 いちごLiving/東京都世田谷区
：小林 由美 氏 （社福）ビタ・フェリーチェ/山口県岩国市
コーディネーター：笠井 進 氏 （社福）川の郷福祉会/埼玉県三郷市

グループホーム（以下GH）が障害のある方の暮らしの場として制度化されて約30年が経過、制度の見直しや対象者の拡大など時代とともに変化してきました。

それとともに入居者のニーズも多様化しており、高齢化や障害の重度化、より一人暮らしに近い住まいなど、多様な暮らしへの支援が求められるようになりました。

この分科会ではGHをはじめとする様々な居住支援の実践報告から、具体的な取り組みや地域づくりについて学び、普段、支援について一緒に考える機会の少ないGHなどの現場で働く私たちにとって明日からの支援のヒントになればと思います。

また制度の変遷や運営基準の厳格化など時代の流れに左右されない「暮らしを支える」という理念を皆さんと一緒に共有したいと思います。

■ 第3分科会

「発達障害」ってな～に？ ～知りあう わかりあう 支えあう～

講師：十一 元三 氏 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 教授

（NPO）神経発達症研究推進機構 理事長 / 京都府京都市

：山崎 明子 氏 （一社）みーる リカバリースペースみーる / 大阪府東大阪市

「発達障害」をテーマに、みんなで考えたことはありますか？

当分科会では『発達障害』の相互理解を深める為にライフステージ毎の特性を学び、
特に社会性・社会的スキルを必要とされる青年期以降にスポットをあてた実践報告をもとに、
本人を中心に課題や関わり方について医療・福祉の視点から学びを深めます。

一人ひとり違う『発達障害』について「知り、わかりあい、支えあう」輪、

「ここをつなぐ支援のバトン」をイメージして、途切れの無いチーム作りを目指しませんか？

■ 第4分科会

地域包括ケアシステムとは？ ～精神障害者の地域生活支援の行方～

講師：野村 恭代 氏 大阪市立大学大学院生活科学研究科 准教授 / 大阪府大阪市

：伊澤 雄一 氏 （社福）はらからの家福祉会 / 東京都国分寺市

：柳 尚夫 氏 豊岡保健所 所長 / 兵庫県豊岡市

司会：勝田 武司 氏 （社福）あけぼの福祉会 / 大阪府摂津市

「我が事・丸ごとの地域づくり」の名のもと、「地域包括ケアの深化・地域共生社会の実現」が、推進されています。

私たちが今まで積み上げてきた精神障害者の地域生活支援の実践は、このままやっていけるのか？

活かせるところはどこなのか？

また、変えるべきところはあるのか？

地域・医療・介護とどのように連携していけばよいのか？

不安や課題を感じていませんか？

そんな疑問に応えようと、地域包括ケアシステムや地域づくりについて、3人の実践者が熱く語ります。

■ 第5分科会

「私」から始まる仕事づくり ～「枠」からはなれてこれからの福祉を考えてみよう～

話題提供者：武南 千賀子 氏 （社福）野のちから / 大阪府堺市

：村上 大作 氏 （一社）てとて / 福岡県糸島市

：近島 勇 氏 当事者講師 / 大阪府堺市

コーディネーター：竹端 寛 氏 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 / 兵庫県姫路市

自分たちの仕事にふと矛盾を感じる事はありませんか？

「障害者総合支援法」や「システム」に作られた「枠」の中でやっていることに疑問を持つことはありませんか？

「枠」の中での働き方以外の働き方もきっとあるはず！

障害者総合支援法以前から働いておられる方の現在に至るまでの実践談や、

当事者の方に職員がどのように見えているのかを聞かせていただき、

システムに囚われない福祉や人材育成についての学びを深めます。

「私」がこれから働いていく中で、何に重きをおいてどのように取り組んでいくのかを一緒に考えてみませんか？

■ 第6分科会

医療と地域の連携 ～ぶっちゃけ どう思ってますか？～

講師：浜中 利保 氏 (医) 三家クリニック／大阪府寝屋川市
：森田 倫子 氏 (医) 北山病院／京都市左京区
：進 あすか 氏 訪問看護ステーションみのり／大阪府門真市
ファシリテーター：西川 孝 氏 (NPO) サラダ倶楽部／大阪市東成区
司会：堀江 卓也 氏 (社福) 京都光彩の会／京都市中京区

「連携はどうして必要？」

「医療側は地域との連携についてどう思ってるの？」

「どんな連携が必要？」など、

実は連携していく中で気になっていること、分からないこと等ありませんか？

「じゃあ、聞いてしまおう！ぶっちゃけどう思ってますか？！」ということで、

医療で活動される方の地域に対する（普段聞けないような）思いを聴くコンセプトです。

また、そのお話を受けて地域側としてどう感じるか、

ファシリテーターを交えながらお互いに課題を共有していこうと思います。

グループワークを取り入れた参加型で、堅苦しくなく進めていきますので、

聞きたいこと、話したいことがある方などなど、是非ご参加を！！

■ 第7分科会

かたロード
語道 ～表現が「私」と「あなた」をつなぐ～

語ることの素晴らしさや“つながる”事から生まれるピアサポートの魅力を感じ合う分科会です。

前半部では様々な自己表現によって自分の事を語る素晴らしさ、演者からもらう“元気”を体感して頂きます。

後半部ではグループになって様々な人と出会い、

当事者同士が自分を語る事で元気になれるピアサポートの“力”を体感して頂きます。

交流会での出会いをきっかけに、新しく“つながる”喜びを多くの方と共に感じ合いましょう。

ファシリテーター：柴 セツコ 氏 桃山学院大学社会福祉学部社会福祉学科／大阪府和泉市
：吉岡 良太 氏 (社福) みとい福祉会／大阪府豊中市
：岡部 昌宏 氏 (社福) 明日葉／大阪府守口市
：安部 孝則 氏 (社福) 明日葉／大阪府守口市
：出口 珠紀 氏 (社福) 明日葉／大阪府守口市
：谷 沙織 氏 (NPO) サラダ倶楽部／大阪市東成区
：小芝 菜々子氏 (NPO) サラダ倶楽部／大阪市東成区
：藤崎 朋子 氏 (NPO) サラダ倶楽部／大阪市東成区